

学校名 川越市立霞ヶ関中学校
所在地 川越市笠幡72
電話 049-231-1302

1 本校の概要

本校は、昭和22年に開校し、昭和30年に周囲、九ヶ村の合併により現校名となった歴史のある学校である。川越市の西に位置し、JR笠幡駅と的場駅の中間地点にあり、学区は商業施設と住宅街である。全校生徒は434名（特別支援学級生徒を含む）で、川越市内では中規模校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣の醸成に係る取組

(2) 実践の概要

小学校では進んで読書に親しんでいた生徒達が中学生になると読書離れの傾向が見受けられる。要因は様々考えられるが、読みたい本が見つからないといった点が大きいと考える。そこで、本校では図書委員会の活動を中心として、読書活動の推進を積極的に行っている。

ア 図書委員会の活動

① 読書推進キャンペーンの実施

- 梅雨時期にお薦め長編本の紹介
- 図書委員・教職員のお薦め本の紹介



【図①：図書委員お薦め本】

【図①・②参照】



【図②：教職員お薦め本】

② 長期休業日特別貸出の実施

※ 一人5冊、長期休業日明けまで借りることができる。夏季休業日においては、学校図書館を3日間開館している。その他の日でも要望に応じて学校図書館の利用可としている。

③ 多読賞の授与

※ 今年度から図書

室の本を50冊借りると、朝会で図書委員長から賞状



を渡し、称賛する 【図③：多読賞】

こととした。2学期には、14名の生徒が表彰された。表彰された生徒の中には、250冊以上読む意欲的な生徒もいた。

イ 図書室便りの発行（月1回）

新着図書の紹介や、部活動を舞台にした内容や、戦争や平和について扱った内容等、テーマを決めて本の紹介を行った。新着図書の情報を載せると、図書室便りを持参して学校図書館へ本を借りに来る生徒も見られた。

ウ ブックトークの実施

JPIC読書アドバイザーより、各学年のテーマに沿った本の紹介を行った。



【図④：ブックトークの様子】

紹介のあった本は事前に購入したり、市立図書館から借りておいたりすることで、ブックトーク終了後、紹介された本の貸出を希望する多くの生徒への対応を行った。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 一人当たりの平均貸出冊数が昨年度より2.2冊増加した。

イ 図書委員の読書推進意識の高揚により、他の生徒の読書意欲を高めることができた。

(2) 課題

ア 学校図書館内や廊下の壁面を利用し、読書意欲をさらに喚起する掲示物の作成。

(3) おわりに

読書活動の推進には、国語教師の果たす役割は大きいと考えるが、図書委員会の活動を促進しながら魅力ある学校図書館を作り、読書好きの生徒を今後も増やす実践を継続していきたい。